
ハイスクールD×D～黒き鎧を纏いて～

レイト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハイスクールD×D〜黒き鎧を纏いて〜

【Nコード】

N3174Y

【作者名】

レイト

【あらすじ】

兵藤一誠ことイツセーの親友、月詠海斗が原作ハイスクールD×Dで活躍しそう！？な物語

兵藤一誠デート計画！

「よっ、イツセー今日も興奮してつか？」

「人を性欲の化身みたいに言うな！」

このアホまるだしなのは兵藤一誠、通称イツセーだ。

そんでもって俺は月詠海斗、元気ハツラツな高校生やってるぜ

「それで俺に何の用だ？」

「実は・・・彼女ができたんだ！」

「・・・良かったじゃねえか！残念なことに夢オチだろうがな！」

「夢じゃない！現実だ！」

だってよ、信じられるか？つい最近までコイツの人生「彼女いない歴だったんだぜ？」

「海斗、今すげー失礼なこと考えてなかった？」

「べつつに〜？」

ま、何にしても友達のはなみは聞いてやるか。

聞いたところ、デートをどうやったら成功させるか？という話だった

それから何時間もかけて計画を練った、失敗は無いだろう。

「ありがとう、海斗！！やっぱ俺達親友だよな！」

「わかったから、抱きつくんじゃないやねえって」

そう言ってイッセーと笑いあって別れた

この時はまだ、デートの終盤・・・あのうような事が起こるなんて思わなかった

墮天使

うんうん、デートは順調だな。

え？ストーカーじゃないって、大事な友の初デートを優しい眼差しで見守ってやってるんだっつーの

まさか、本当に彼女がいるとは思ってもみなかったが一番驚いたのはその彼女が可愛いってことだ！クソッ・・・！！夢オチじゃなかったか！

「それにしても暇だよな・・・こうやって見てるだけってのも」

ま、仲良くやってるみたいで何よりだ・・・

その後も順調にデートは進んで行き、ついにお約束の時間！！

「今日は楽しかったね」

イッセーの彼女、夕麻ちゃんがそう言ったのが聞こえる。きっとバツクに夕暮れが来て良いシチュエーションになっているだろう

「ねえ、イッセーくん」

「なんだい、夕麻ちゃん」

「私たちの記念すべき初デートってことで、ひとつ、私のお願い聞いてくれる？」

来たか？ついに来ちゃうのか？！

く〜！お約束すぎるぜ！

「な、何かな、お、お願いって」

緊張しすぎだぞイッセー！！

「死んでくれないかな？」

・・・ん？間違いなく彼女、夕麻ちゃんはそう言った

その後の言葉は小さくて聞き取れなかったが、彼女の背中に翼が見えた瞬間にヤバいと確信した

「よける！！イッセー！！」

俺は反射的に夕麻の元へと走っていき殴りかかる
バキッ

男は女を殴るべきじゃないが今はそうも言ってられない

「か、海斗・・・？」

「イッセー、こいつはヤバい！！とつとと逃げ・・・る」

気がつくと俺の腹には大きな穴が空いていた

「やってくれるじゃない、海斗くん？」

ぐっ・・・声が出せない・・・！！

息が・・・！

俺の視界に映っていたイッサーが倒れていくのが見えた

「ゴメンね。あなたが私たちにとって危険因子だったから早めに始末させてもらったわ。恨むなら、その身に神器を宿させた神を恨んでちょうだいね」

クソ！死んでたまるかよ・・・！！こんな場所で、訳わからねえ理由で殺される？巫山戯んな！！

「あなたね、私を読んだのは」

・・・？誰だ？

「アンタは・・・誰だ」

「驚いたわ、まだ話せるのね」

駄目だ、目が霞んできて・・・

「死にそうね。傷は・・・へえ、面白いことになってるじゃないの。そう、あなたがねえ・・・」

そう言ってイッサーを見ている奴・・・どっかで見た気が・・・

「・・・？あなた・・・そう、あなたも・・・本当、面白いわ」

クスクスと笑いやがって・・・こっちは笑えねえつつーの・・・

「どうせ死ぬなら、私が拾ってあげるわ。あなた達の命。私のために生きなさい」

そこで俺の意識は途絶えた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3174y/>

ハイスクールD×D～黒き鎧を纏いて～

2011年11月7日19時21分発行